

未来



全労協・郵政産業労働者
ユニオン長崎中野支部
機関紙・「みらい」
NO. 4430
24年3月12日(火)
Tel・Fax 095-828-1953

おはようございます。

厳しい実態明らか 24春闘アンケートに基づく要求に 誠意ある回答を早期に行え！

24春闘での交渉も14日の回答日に向けて大詰めを迎えています。春闘要求は賃金要求だけではなく、職場での様々な問題点も踏まえ要求を行っています。昨年10月から年末にかけて取り組まれた春闘アンケートでは、集約結果から厳しい職場環境が浮き彫りになっていきます。要求決定の基礎となる春闘アンケートには、長中局でも組合員だけでなく多くの社員にご協力頂きました。

ありがとうございます。本部発行の郵政ユニオン新聞に集約結果が掲載されているので、抜粋にはなりますが「未来」でご報告します。

非正規社員編

2015年には29.4%だった勤続10年以

上の割合は年々増え続け58.7%になりました。アソシエイト社員の割合も毎年増加しています。正社員登用が進まず、転職を希望しても正社員での雇用は難しく現状にとどまるしかありません。これまでのたまたかの成果で、アソシエイト社員への扶養手当付与や病気休暇などでの処遇改善はありましたが、一時金や退職金は改善されないうまで、正社員との格差は歴然として存在しています。

ますが、物価高騰が止まらず、食品や生活必需品の相次ぐ値上げが家計を圧迫しています。

正社員編

生活実感では「かなり苦しい」「やや苦しい」が67.7%と昨年より4.7%上昇しています。物価上昇などの影響で社員の生活が昨年同様に圧迫されていることが窺えます。

8年ぶりのベアでも

収入の変化では「減った」が11%、「増えた」が15.4%になるなど、8年ぶりのベアや特別手当の支給等で昨年より収入が増えたと実感する社員が増加しています。

要員不足に不満

今の職場への不満、不安では「要員不足」が9年連続1位となり、全ての世代で1位を占めています。2位は「賃金が安い」で昨年と同じ傾向です。3位以下は「正社員との格差」「スキル評価制度」となっています。

要員不足に不満

今の職場への不満、不安では「要員不足」が9年連続1位となり、全ての世代で1位を占めています。2位は「賃金が安い」で昨年と同じ傾向です。3位以下は「正社員との格差」「スキル評価制度」となっています。



生活実感は「かなり苦しい」「やや苦しい」が70.8%となり昨年より3.6%増加。「かなり苦しい」は20代以下と60代で割合が高くなっています。

最低賃金引き上げ運動の前進により、年間収入が「減った」と答えた人は昨年の21.7%から18.9%に減少してい



54%が5万円以上「生活改善に向けてい

くら必要か」との問いに対しては「5万円以上が必要」との声が半数を占め、物価上昇などで厳しさを増す生活実感が反映されたものになっています。



改善なき要員不足

今の職場への不満、不安に感じる事は非正規社員同様に1位が「要員不足」2位が「賃金が安い」となっています。3位は「職場の将来」となっています。昨年同様の順位です。

年別では「賃金が安い」が10代〜30代でトップとなり、若年層の賃上げとともに一般職の賃金改善が急務であることを示しています。

郵政ユニオンは皆さんから寄せられた要求実現のため春闘をたたかいます。ご支援とご協力をお願いします。



仲間と競争せず、弱い立場の人と共に団結して闘おう。

期間雇用社員の希望を全員の正社員化を。

ゆげ、均等待遇、なげんき差別。

ユニオンは労基法裁判に勝利したぞ！